

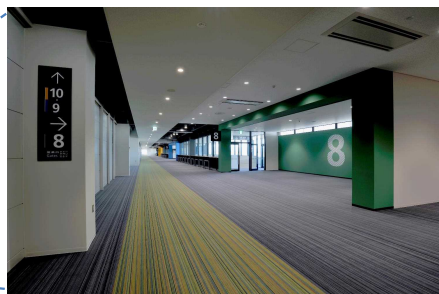
仙台空港の運営委託による成果

- ▶ 仙台空港は、平成28年7月より仙台国際空港(株)による運営が開始。
- ▶ 仙台空港から宮城県外の東北地方各所への2次交通の充実、柔軟な着陸料設定や積極的なエアポートセールスによる路線の誘致等、民間の創意工夫を活かした運営が進められている。

施設整備による利便性の向上

(出典：仙台国際空港(株))

○新旅客搭乗施設(ピア棟)建設・供用開始 (2018年10月～)



○ローコスト構造・運用をコンセプトに整備。国内線搭乗口が6から10カ所に増加。発着機輻輳時の旅客処理能力が拡大。

民間委託を通じた路線拡充の動き

アジアナ航空ソウル線の増便

◇仙台～ソウル便を増便(週4便→週7便) 平成28年6月28日～

タイガーエア台湾(国際線LCC)新規就航

◇仙台～台北便を新設(週5便) 平成28年6月29日～
◇仙台空港として初めての国際線LCC

エバー航空台北線の増便

◇仙台～台北便を増便(週2便→週4便) 平成28年10月12日～

スカイマーク神戸線の就航

◇仙台～神戸便を再開(1日2往復) 平成29年7月1日～

Peach(LCC)仙台空港拠点化、新規就航

◇仙台～札幌便を新設(1日2往復) 平成29年9月24日～
◇仙台～台北便を新設(週4便) 平成29年9月25日～

フジドリームエアラインズの新規就航

◇仙台～出雲便を新設(1日1往復) 平成30年4月20日～

【仙台空港就航便数】

平成30年冬ダイヤ期首

⇒400便/週 **+36便**

(平成28年冬ダイヤ期首)

⇒364便/週

旅客数及び収益の増加

○旅客数の目標値

	開始5年後 (平成32年度)	30年後 (平成57年度)
旅客	410万人	550万人
国内	362万人	435万人
国際	48万人	115万人
貨物	1万t	2.5万t

○旅客数の実績値

	平成27年度 (運営開始前)	平成29年度 (運営2年目)	
旅客	311万人	344万人	過去最高
国内	295万人	316万人	開始前比 7%増
国際	16万人	28万人	開始前比 75%増
貨物	0.7万t	0.7万t	

○営業収益

○平成29年度51.6億円(民間委託前比較 56%増(33.1億円))

空港アクセスの拡充

鉄道	バス
◇仙台空港～仙台(3往復増便)	◇福島会津若松と直結する高速バス路線開設(1日3往復) 平成28年11月14日～ ◇松島・平泉を直結するバス路線開設(松島:1日4往復+2便/平泉:1日2往復) 平成29年1月25日～ (平泉の1往復を花巻空港まで延伸)平成30年5月11日～
	◇酒田・鶴岡方面を直結する高速バス路線開設(1日1往復) 平成29年4月1日～ ◇山形駅を直結するバス路線開設(1日4往復) 平成29年4月21日～ ◇秋保温泉・みちのく公園を直結するバス路線開設(1日6往復) 平成29年9月20日～
	◇安比高原(盛岡駅経由)シャトルバス(冬期運行) 平成29年12月～ ◇山形蔵王スキー場シャトルバス(冬期運行) 平成29年12月～